(生産者への案内文案)

稲作生産者　各位

　日頃、農政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

令和２年産米の需給については、国内需要の減退が続く中で、新型コロナウイルス感染症の影響等による消費減退も加わり、在庫の過剰に直面しています。令和３年産の主食用米については、全国で過去最大規模の6.7万haの作付転換が必要となる中、４月末の作付け意向では、3.7万haの減少と見込まれています。

需給と価格の安定を図るためには、需要に応じた生産・販売に取り組むことが重要であり、営農計画書の提出期限である６月末に向けて、情報提供させていただきます。

○米の民間在庫量（全国）は、令和３年４月末で231万㌧と対前年同月比＋27万㌧となっており、前年と比較し高い水準で推移しています（表１）。

○令和２年産米の令和３年４月の相対取引価格は、全銘柄平均で前月差▲8円の14,732円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産▲856円の14,860円/60kg（対前年産平均比▲5.4％）となっています（表２）。

○主食用米と飼料用米の所得比較イメージ（表３）を参考に、ご自身の収入・経費等を当てはめて、ご検討ください。なお、飼料用米の申請期限は６月末です。

○収入保険に加入されていない担い手（認定農業者等）の皆さんには、経営安定のため、収入減少影響緩和（ナラシ）対策への加入をお勧めします（加入申請期限６月末）。

